

現状認識

- 観光需要は増加している一方、低い労働生産性のほか、人材不足が深刻となっており、一部の宿泊施設では稼働を制限するなどの課題が生じている。
- これらの課題に対して、引き続き生産性向上の取組に対する支援等により、事業者の経営の安定化を図り、通年雇用や賃金向上につなげ、人材確保に結びつける総合的な施策が必要である。
- こうした認識の下、食・文化・スポーツと観光との連携を強化し、繁閑平準化に向けた冬季誘客等の促進やインバウンド誘客の拡大のほか、人材確保の取組を強化する。

対応方針

- ◎ **冬季誘客・インバウンド誘客**：閑散期となる冬季等の誘客を促進するため、JRや観光関連事業者等と連携した冬季大型観光キャンペーンの展開や、食・文化・スポーツと観光との連携による体験型コンテンツの充実を図るほか、台湾チャーター便等を活用したインバウンド誘客の拡大に向けた取組を推進する。
- ◎ **交流を支える基盤づくり**：観光・交通事業者による人材確保への支援や利便性向上に向けた交通ネットワークの構築のほか、食品産業の競争力強化に向けた取組、新県立体育館の整備など、交流拡大を支える基盤づくりを総合的に推進する。

冬季誘客の促進等による集客力の強化

食・文化・スポーツと連携した体験型観光の推進

- ・ JRや観光関連事業者等と連携した冬季大型観光キャンペーンの展開 等
- ・ 小正月行事、スノーアクティビティ等の多彩なコンテンツの活用 等

ミルハスを核とした文化芸術の発信とにぎわいづくり

スポーツを活用した交流人口・関係人口の拡大

冬の魅力向上
集客力強化

インバウンド
誘客の拡大

観光産業の持続的な成長に向けた戦略

人材確保

生産性向上

設備投資



森吉山の樹氷



タイガーエア台湾

交流拡大を支える基盤づくり

インバウンド誘客の拡大

戦略的なインバウンド誘客の推進

- ・ 台湾チャーター便の定期便化に向けた運航支援の実施 等
- ・ 台湾やタイ・欧州におけるSNS等を活用した情報発信の強化 等

秋田の「食」の魅力の発信と誘客への活用

多様なニーズに応じた受入態勢の整備

観光データの活用によるEBPMの推進

観光・交流を支える人材の育成・確保

秋田ならではのツーリズムの推進

食品産業を牽引するリーディングカンパニーの創出

スポーツ振興の拠点となる新県立体育館の整備

利便性向上に向けた交通ネットワークの構築